

## 秋の年次公開検証等の指摘事項に対するフォローアップ

担当府省名	文部科学省		
テーマ等	スーパーグローバル大学		
指摘事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業達成時のスーパーグローバル大学（SGU）の社会における機能が明確とは言えない。文部科学省は、<u>目指すSGUの具体像を示すべきである。さらに、そこに至るロジックモデルをバックキャストिंगを通じて示し、SGUが実現できることを明確にする。</u></li> <li>・各SGUはその属性や比較優位性を踏まえたロジックモデルを構築するとともに、<u>定性的または定量的なアウトカム目標を公開し、それを達成していくことを示さなければならない。</u>一方、目標に至るための計画及びアウトプットなどのプロセスの評価による支援の急激な変動は、目標達成に支障をきたし、本事業目的には逆効果の恐れがあるため、<u>評価の対象は基本的にアウトカムに限定されるべきである。</u></li> <li>・本事業の目的が、本来各大学の自主努力によってなされるべきことに鑑み、事業としての予算規模が段階的に縮減していくことも前提に、<u>各SGUには自走化への計画を開示し、それを具体的に進めながら、その進捗を公表していくことが求められる。</u></li> </ul>		
個別項目	対応方針・スケジュール	平成 31 年度予算政府案閣議決定時までに決定・実施した内容	備考
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業達成時のスーパーグローバル大学（SGU）の社会における機能が明確とは言えない。文部科学省は、<u>目指すSGUの具体像を示すべきである。さらに、そこに至るロジックモデルをバックキャストिंगを通じて示し、SGUが実現できることを明確にする。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋の年次公開検証時に作成した SGU の具体像を含むロジックモデルを修正し、SGU ホームページにて公表する。（スケジュール）</li> <li>・SGU の具体像を含むロジックモデルについては、秋の年次公開検証時の指摘を踏まえ、現時点の修正を行い、平成 30 年 12 月 28 日に SGU ホームページにて公表した。</li> <li>・SGU の具体像を含むロジックモデルは以下において作成する各採択大学のロジックモデルを参照し、今後、SGU の具体像を含め、見直し・改善を図っていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・左記の対応方針を決定した。</li> </ul>	<a href="https://www.jp-ps.go.jp/j-sgu/logicmodel.html">https://www.jp-ps.go.jp/j-sgu/logicmodel.html</a>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各SGUはその属性や比較優位性を踏まえたロジックモデルを構築するとともに、<u>定性的または定量的なアウトカム目標を公開し、それを達成していくことを示さなければならない。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各採択大学において、アウトカム目標を含むロジックモデルを作成し、SGU ホームページにて公表する。（スケジュール）</li> <li>・2019 年 1 月中に作成依頼を行い、年度末までに公表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・左記の対応方針を決定した。</li> </ul>	
<p>一方、目標に至るための計画及びアウトプットなどのプロセスの評価による支援の急激な変動は、目標達成に支障をきたし、本事業目的には逆効果の恐れがあるため、<u>評価の対象は基本的にアウトカムに限定されるべきである。</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次回（2020 年度）の中間評価において、アウトカムを中心に評価を行うよう中間評価の実施方法を本事業のプログラム委員会において定める。（スケジュール）</li> <li>・2019 年度末までに中間評価の実施方法を本事業のプログラム委員会において定める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・左記の対応方針を決定した。</li> </ul>	

<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業の目的が、本来各大学の自主努力によってなされるべきことに鑑み、事業としての予算規模が段階的に縮減していくことも前提に、<u>各SGUには自走化への計画を開示し、それを具体的に進めながら、その進捗を公表していくことが求められる。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各採択大学において、財政支援終了後を見据えた自走化への計画を作成し、各SGU ホームページにて公表する。</li> <li>・次回（2020年度）の中間評価において、自走化の計画に対する進捗についても評価項目とする。（スケジュール）</li> <li>・平成30年度末までに作成依頼を行い、2019年夏までに公表する。</li> <li>・2019年度末までに中間評価の実施方法を本事業のプログラム委員会において定める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・左記の対応方針を決定した。</li> </ul>	
---	---	--	--